

グローバル・リスク・ウォッチ Vol.9

上り坂でのブレーキの効きに怯える世界経済 他

=====

<<index>>

- [1. 上り坂でのブレーキの効きに怯える世界経済\(大山\)](#)
 - [2. 銀行規制の緩和とノンバンク規制の強化?\(岩井\)](#)
 - [3. 米国ハイイールド債利回りの上昇は、株式市場に対する警戒サインなのか?\(祖父江\)](#)
 - [4. 欧州における右傾化の進展\(茂木\)](#)
 - [5. セミナー最新情報\(2015年12月時点\)](#)
- =====

3. 今月の注目指標

米国ハイイールド債利回りの上昇は、株式市場に対する警戒サインなのか?(有限責任監査法人 トーマツ マネジャー 祖父江康宏)

米国のハイイールド債の利回りが上昇(価格は下落)しています。利回り上昇の主な理由には、米国の利上げが間近に迫っていること、原油価格が急落し8月に記録した下値を割り込んだことが挙げられます。加えて、12月11日に米国のハイイールド債ファンドの清算と解約受付の停止が公表されたことも市場の混乱に拍車を掛けました。ハイイールド債の発行体は、エネルギーセクターの構成比率が最も高く、その中心は石油設備および掘削関連企業であるため、原油価格の影響を受け易いと言われています。ハイイールド債の利回りは、VIX指数などと合わせて株式等のリスク資産価格に対する早期警戒指標の一つに挙げられ、株式市場の「炭鉱のカナリア」として投資家から注目されています。米国の金融政策に対する不確実性が低下したこともあり、12月11日時点では、株式市場はハイイールド債市場ほど価格調整が進行している訳ではありませんが、ハイイールド利回りが示唆するサインを踏まえると、今後の動向には一定の注視が必要かもしれません。



デロイト トーマツ グループは日本におけるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(英国の法令に基づく保証有限責任会社)のメンバーファームおよびそのグループ法人(有限責任監査法人 トーマツ、デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザー合同会社、デロイト トーマツ 税理士法人および DT 弁護士法人を含む)の総称です。デロイト トーマツ グループは日本で最大級のビジネスプロフェッショナルグループのひとつであり、各法人がそれぞれの適用法令に従い、監査、税務、法務、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザー等を提供しています。また、国内約 40 都市に約 8,500 名の専門家(公認会計士、税理士、弁護士、コンサルタントなど)を擁し、多国籍企業や主要な日本企業をクライアントとしています。詳細はデロイト トーマツ グループ Web サイト(www.deloitte.com/jp)をご覧ください。

Deloitte (デロイト)は、監査、コンサルティング、ファイナンシャルアドバイザーサービス、リスクマネジメント、税務およびこれらに関連するサービスを、さまざまな業種にわたる上場・非上場のクライアントに提供しています。全世界 150 を超える国・地域のメンバーファームのネットワークを通じ、デロイトは、高度に複合化されたビジネスに取り組むクライアントに向けて、深い洞察に基づき、世界最高水準の陣容をもって高品質なサービスを提供しています。デロイトの約 220,000 名を超える人材は、“making an impact that matters”を自らの使命としています。

Deloitte (デロイト)とは、英国の法令に基づく保証有限責任会社であるデロイト トウシュ トーマツ リミテッド(“DTTL”)ならびにそのネットワーク組織を構成するメンバーファームおよびその関係会社のひとつまたは複数を指します。DTTL および各メンバーファームはそれぞれ法的に独立した別個の組織体です。DTTL (または “Deloitte Global”)はクライアントへのサービス提供を行いません。DTTL およびそのメンバーファームについての詳細は www.deloitte.com/jp/about をご覧ください。

本資料は皆様への情報提供として一般的な情報を掲載するのみであり、その性質上、特定の個人や事業体に具体的に適用される個別の事情に対応するものではありません。また、本資料の作成または発行後に、関連する制度その他の適用の前提となる状況について、変動を生じる可能性もあります。個別の事案に適用するためには、当該時点で有効とされる内容により結論等を異にする可能性があることをご留意いただき、本資料の記載のみに依拠して意思決定・行動をされることなく、適用に関する具体的事案をもとに適切な専門家にご相談ください。